

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県東近江市小川町1385

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社ホームコーポレーション
代表取締役 関 哲也

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社ホームコーポレーション 代表取締役 関 哲也
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県東近江市小川町1385

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社ホームコーポレーション 滋賀工場							
事業所の所在地	滋賀県東近江市小川町1385							
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	0	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 清涼飲料製造業		
事業の概要	清涼飲料水の製造							
従業員の数	40	人	作業時間	8~21	時間/日			
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	台	照明設備	240	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	台	その他	ブロワー1台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和4	年度	報告対象年度	令和6	年度
	終了 年度	令和8	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち「株式会社ホームコーポレーション」は、UCCグループの一員としてUCCの掲げるサステナビリティビジョンの一つ「2040年までにカーボンニュートラルの実現」という目標の実現に向け、以下の3つのカテゴリーから温室効果ガス削減対策の検討を進めていきます。

- ①事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- ②他社から供給された電気等の使用に伴う間接排出
- ③事業者の活動に関連する他社の間接排出

2 取組の推進体制

※別紙(推進体制)参照

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・使用していない場所の照明設備は消灯する
- ・使用頻度の低い場所の照明をセンサーライトに切り替える
- ・使用していない事務機器は省電力モードまたは電源をOFFにし、必要時に電源を入れる
- ・会社全体のペーパーレス化を進め、紙の使用量を減らす
- ・事務所に電力計量器を設置し、電機の使用量を把握するとともに、電機の使用状況を常に意識する
- ・高圧電力の全量を、Co2フリーの再生可能エネルギー由来の電力でまかなっている

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	各ラインの断熱強化	R4～R8	継続実施中
2				
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組や製造の効率化などにより、令和3年度を基準とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位「エネルギー使用量(原油換算)／生産数量(千本)」の基準年度・前年度1%削減</p>	<p>【令和6年度】</p> <p>原単位令和3年度比 85.7%</p> <p>原単位前年比 86.5%</p> <p>生産ラインが効率良く稼働するようになった上、生産数量も昨年度より増加したため、令和3年度比、前年度比共に目標を達成することができた。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,814	1,614	1,495	1,387		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,198	2,687	2,599	1,680		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,198	2,687	2,599	1,680		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.0487	0.0499	0.0488	0.0422		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					